

平成23年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要

日 時：平成23年6月30日（木）
午後6時30分～午後7時50分
場 所：市役所2階行政会議室

出席者：審査委員 檜楨委員長、阿部副委員長、島委員、成田委員、齋藤（秀）委員、
清藤委員、齊藤（き）委員、小山委員、前田委員、吉本委員、
東谷委員、長内委員、工藤委員、小林委員、田中委員
※欠席なし

事務局 野呂市民環境部長
市民生活課 佐々木課長、北岡参事、藤田主幹、堀川総括主査、
葛西主事、阿保主事

1 組織会

(1) 委員長の選出

佐々木課長が仮議長になり、審査委員会設置要綱第4条第1項に基づき委員の互選（指名推薦）により檜楨委員が委員長に選任された。

(2) 副委員長の選出

檜楨委員長が議長になり、審査委員会設置要綱第4条第1項に基づき委員の互選（指名推薦）により阿部委員が副委員長に選任された。

2 説明事項

(1) 市民参加型まちづくり1%システム制度概要について

(2) まちづくり1%システム審査委員会について

●委員からの主な意見

（制度全般について）

- ・6,000万円を左右すると考えると任務が重い。単に振り分けをすればいいということではないと思う。申請する方も大変であるが、審査する方も大変なことだと思う。そういう意味では勉強しなければいけないと思っている。
- ・これまで行政でやっていた審査を我々にさせてくれるということで、様々な意見が出るのが予想される。どんどん意見を出して行って、1年とか2年とか経っていくとこの制度が変わっていくのではないかと思う。
- ・「審査委員会」という名前であるが、弘前市民の活動を支えられるような新しい動きが出てきたというふうに考えると楽しい。

（予算額を超えて申請があった場合の対応について）

- ・今年度の予算額は6,000万円であるが、予想以上に件数が多く、予算額に達してしまった時は、募集を締め切るのか、今の段階である程度決めるべき。

(公開ヒアリングの時間について)

- ・ヒアリング時間について、時間を短くして思いが伝わらないことがないように対応して欲しい。

(公開ヒアリングの簡素化について)

- ・申請額が一定額以上のものだけをヒアリングの対象とし、ある程度運用を簡素化してはどうか。事業費が小さい活動を実施したい団体にとっては、申請する気持ちがわからないように感じる。
- ・この制度は、弘前の中で、「どういう方たちが、どういう活動をしているのか」ということが、お互いに見えてくるということに意味があると思うので、金額に関わらずヒアリングをすることで、ネットワークのきっかけとなり、良い意味での価値が出てくると感じる。
- ・今年度実施してみて、その後にもう一度検討してはどうか。

(実績報告について)

- ・事業完了後の実績報告書の提出について、3月31日に完了する事業の場合は、提出の締切が4月10日というのは、あまりにも期間が短い。